

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【さわやかマナーアップ運動の実施】	ボランティア活動の一環として、毎月の「あいさつ運動」と、年に1回いばらき教育月間に合わせて各学年で「地域清掃」を行った。「あいさつ運動」では、毎月ごとに担当する学級を変え昇降口付近で、登校している児童へあいさつをしている。また、「地域清掃」では、学校周辺のゴミ拾いをを行った。 どちらの活動も保護者の協力をいただいて実施している。
	成果 「地域清掃」では普段通学路として利用している所や、校庭などを清掃することで、きれいな環境にすることの大切さや、感謝の気持ちを育むことができた。 「あいさつ運動」では、普段声が小さくて、一人ではなかなかあいさつができない児童も、この運動を通して元気にあいさつすることの良さを感じ取れるきっかけになっている。
	課題 ・児童の挨拶への意識を高めるためには、あいさつ運動のみではなく、毎日の教職員からの啓発も大切であると感じた。今後も継続的に意識できるように努めていきたい。 ・学校の敷地外に出る場合の安全確保が今後必要である。
2 実践2 【今日のキラリ、キラリ賞の実施】	「今日のキラリ」は、毎日帰りの会の中に、その日に頑張った友達や素晴らしい取り組みをしていた友達を発表し、称賛する活動である。また、「キラリ賞」は生活の中で友達の良さを見付け、その良いことについて、全児童が校長室で表彰を受ける取組である。表彰は毎月行われており全児童が表彰される。
	成果 ・称賛を受けた児童は自己肯定感や自己有用感を高めることもでき、より良い人間関係をつくる機会ともなった。 ・また友達の良いところを互いに認め合おうとする。意識の高まりを感じた。今後も継続して取り組んでいきたい。
	課題 キラリ賞は全員貰うことができるが、自分の番がくるまで「自分はもらえないかも」と不安に思う児童もいた。教師が普段から児童の良いところを見つけ、伝えていくことがさらに必要である。